

速報版

第2回

フードデリバリー配達員

実態調査

満足・不満足な
点は？

報酬は？

スポットワークと
比べて？



調査概要と回答者属性

配達員としての契約形態

1週間の稼働時間と平均報酬

【第1回実態調査との比較】1週間の平均報酬の変化

【クロス集計】1週間の稼働時間と平均報酬

個人年収に占める配達員報酬の割合と配達員報酬以外の収入源

配達業務にもっとも多く利用している移動手段

直近6ヶ月の稼働プラットフォーム数

各プラットフォームの満足・不満項目

アカウントが停止された経験

配達員を始めた理由

働き方に対する満足度（全般／項目別）

配達員業務の継続意向

ギグワークかスポットワークか

ギグワークかスポットワークか選ぶ上で重視する項目とその理由

ライドシェアドライバーへの興味有無とその理由

2023年度の確定申告状況

※引用・転載にあたってのお願い 本調査結果は、下記条件に基づき、ご自由に引用・転載いただくことができます。

1) 必ず下記のクレジット表記をお願いします。

一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会
「第2回 フードデリバリー配達員実態調査」

2) 当協会事務局へ掲載報告をお願いします。

・ウェブサイトの場合：メールにて掲載URLをお知らせください

・印刷物の場合：掲載された書籍や記事を郵送でお送りください

・テレビ放映の場合：予め放映日をお知らせください。

もしくは、放映後に引用場面の画像キャプチャをメールでお送りください。

調査期間：2024年7月18日～2024年8月5日

調査方法：オンラインのアンケート調査フォームによる回答収集

告知方法：一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会メールマガジン・公式SNS

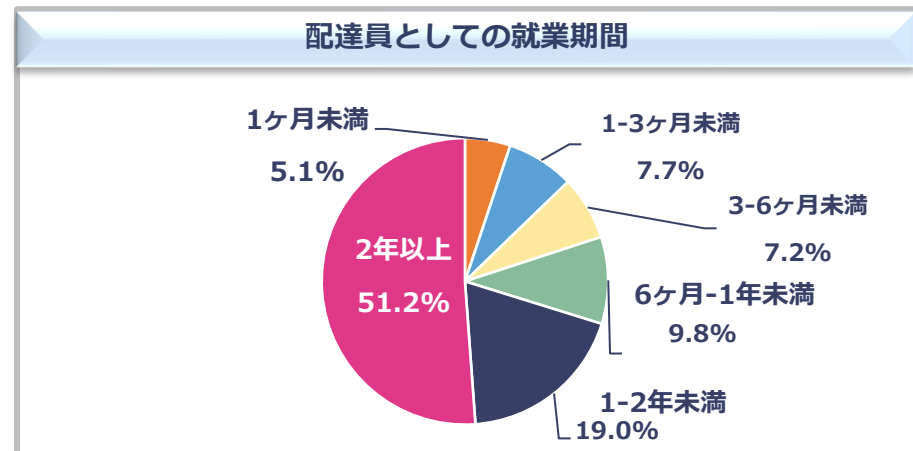
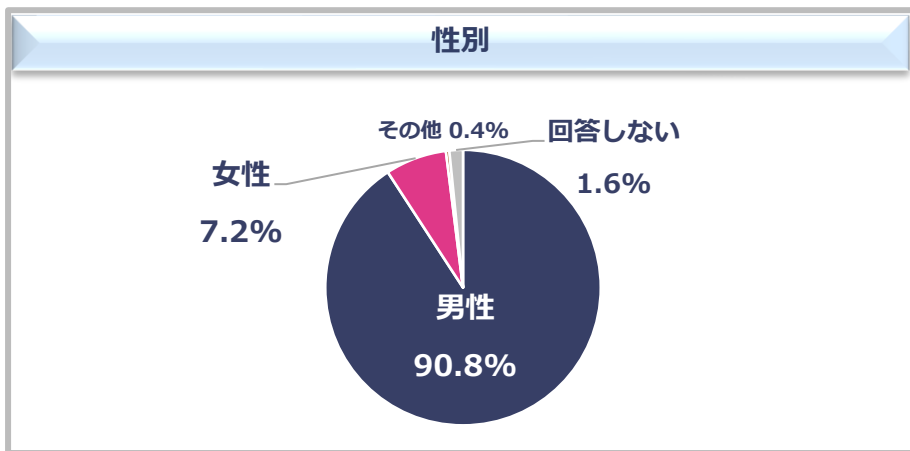
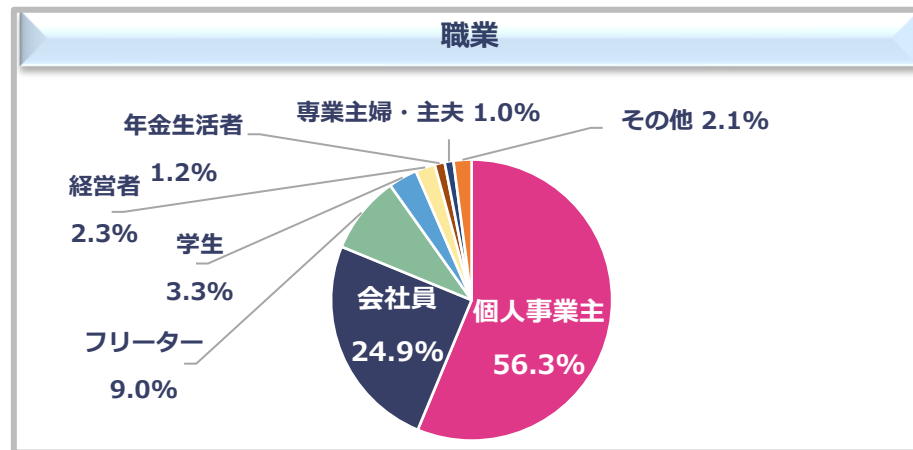
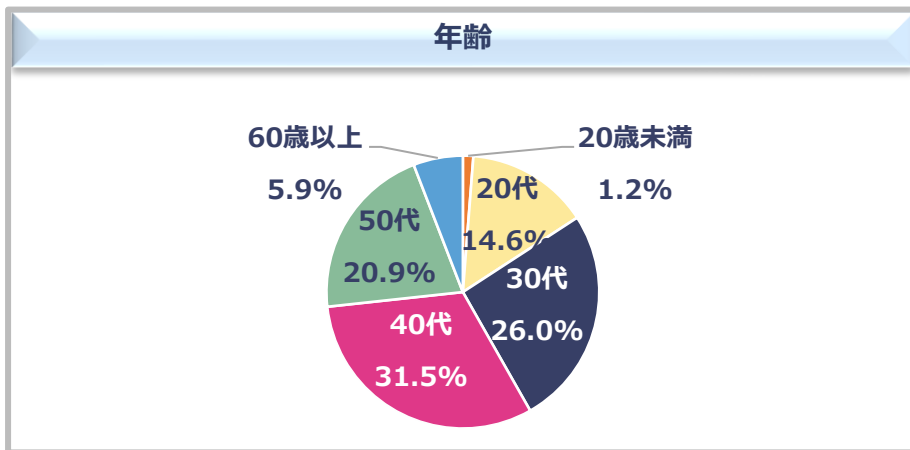
一般社団法人日本フードデリバリーサービス協会（JaFDA）加入事業者の登録ユーザー向けメール

有効回答数：26,550名（回答総数30,104名のうち、Uber、出前館、menu、Wolt、ごちクル、くるめし弁当のいずれかで、直近6ヶ月以内に個人事業主としてフードデリバリー配達員業務を行った者） ※数字は同一アドレスからの重複回答削除済み

調査主体：一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会

調査協力：一般社団法人日本フードデリバリーサービス協会（調査票の配布）

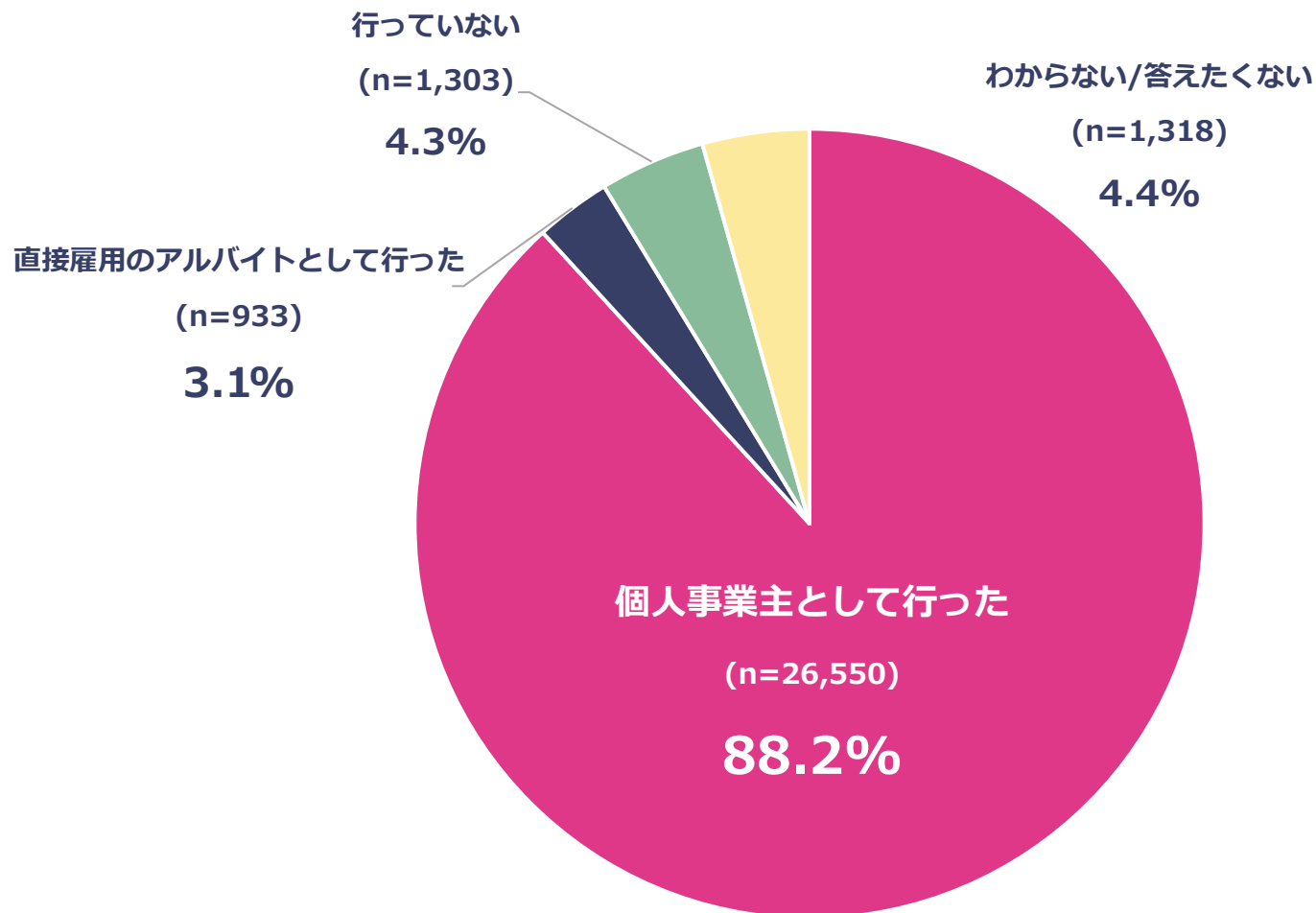
(n=26,550)



調査回答者の約9割は個人事業主としてフードデリバリー配達業務を行っている

Q.あなたは直近6ヶ月以内に個人事業主としてフードデリバリー配達員業務を行いましたか。(単一回答)

(n=30,104)

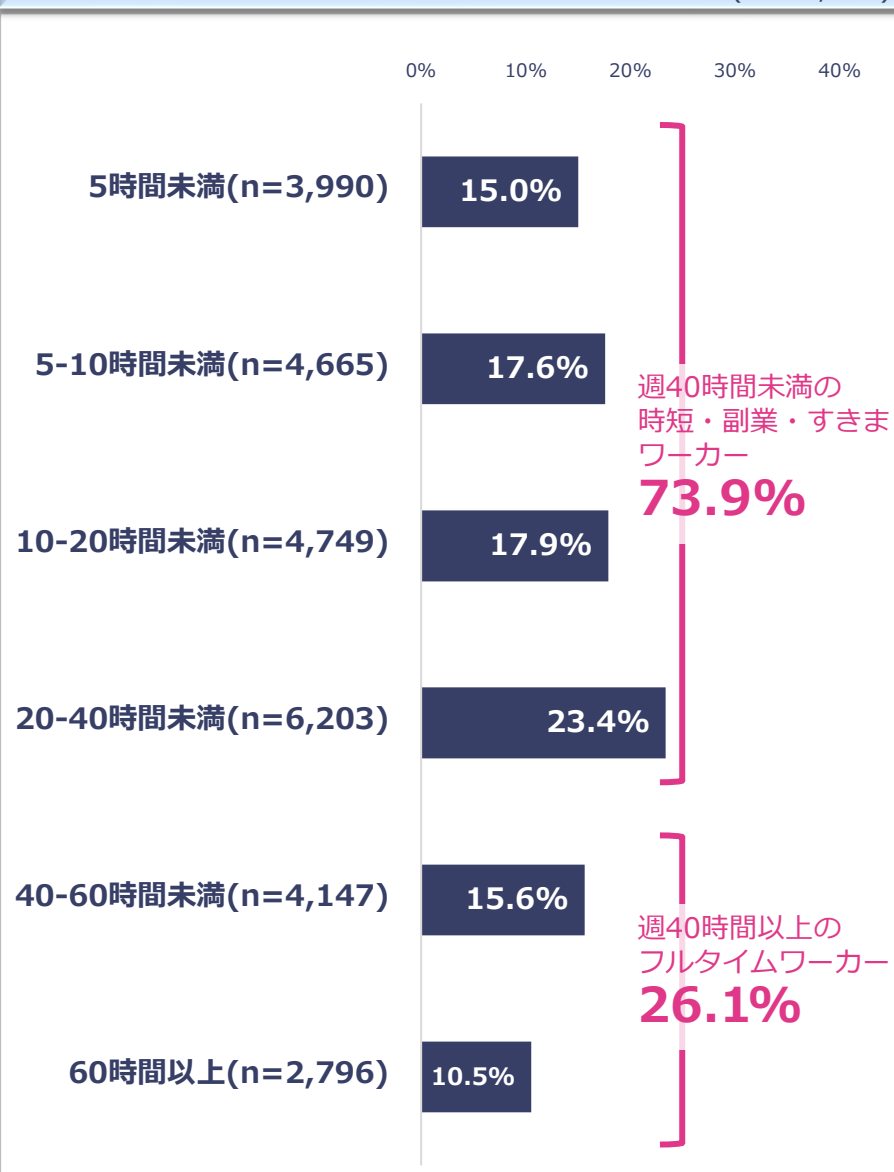


次ページからは「個人事業主として行なった」(n=26,550)が回答対象

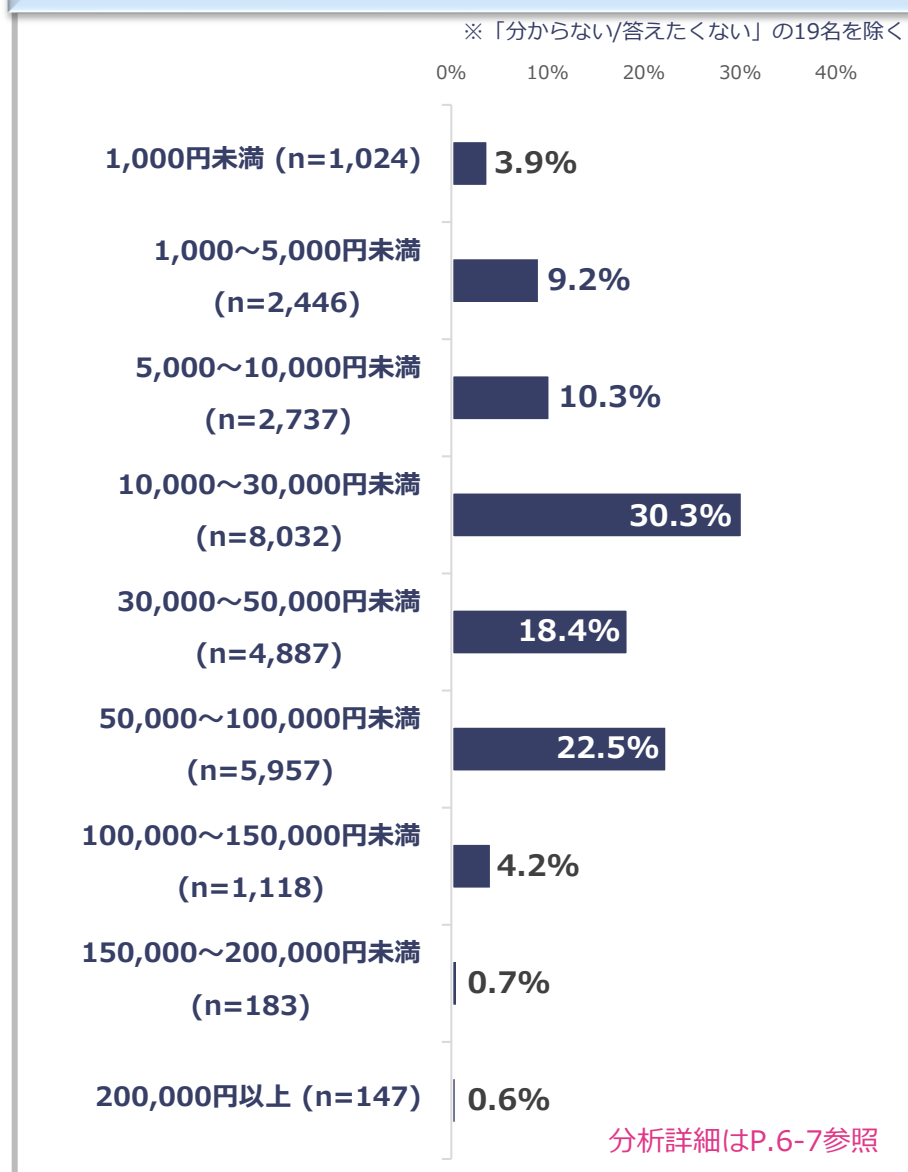
※小数点以下第二位四捨五入

1週間の稼働時間と平均報酬

1週間の稼働時間 (n=26,550)



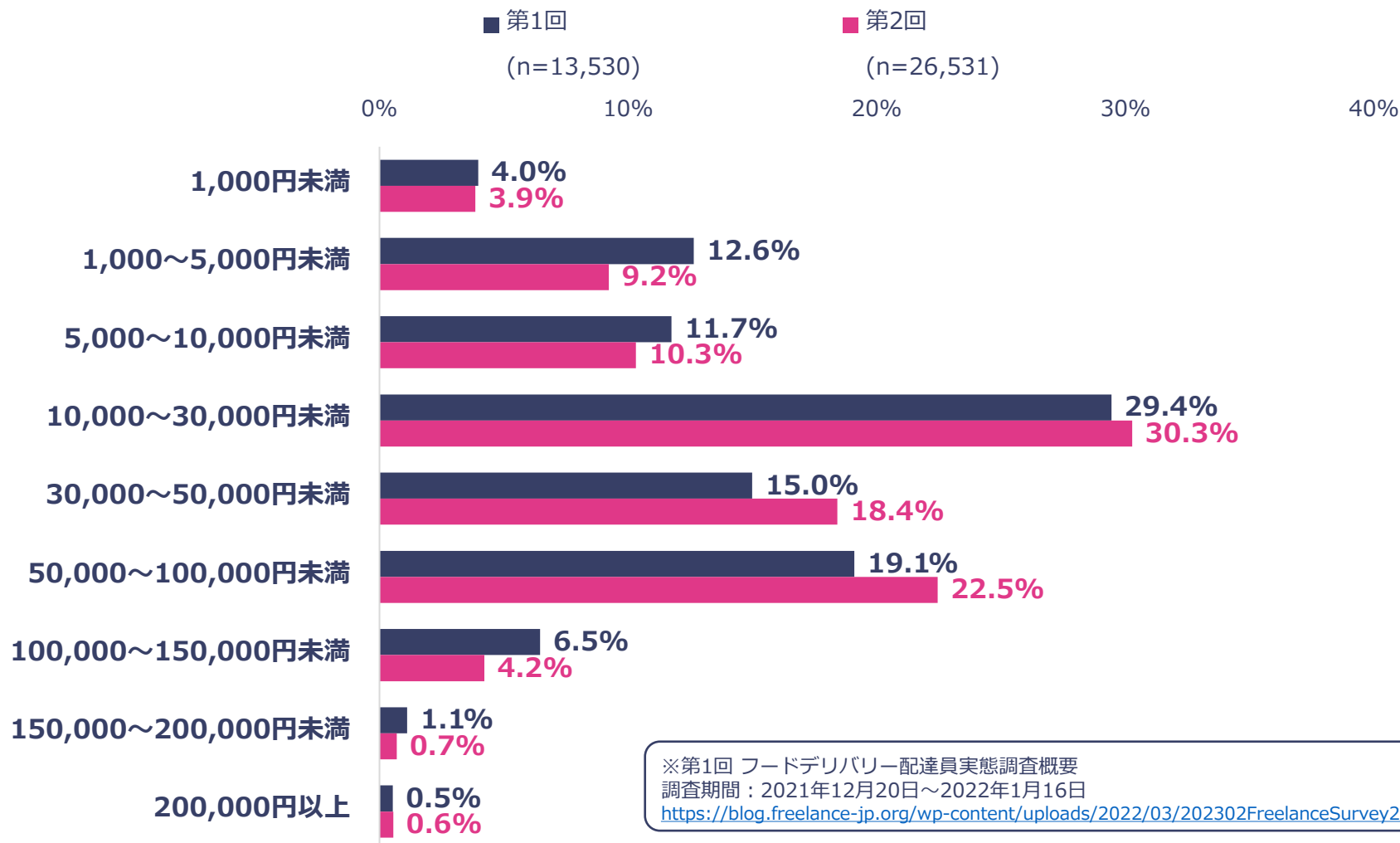
1週間の平均報酬 (n=26,531)



【第1回実態調査との比較】1週間の平均報酬の変化

前回調査に比べ1週間の平均報酬が1万円未満の回答者が減少し、1～10万円未満の回答者が増加している。
特に「3～5万円未満」「5～10万円未満」の回答者が増加。

調査時期別 1週間の平均報酬

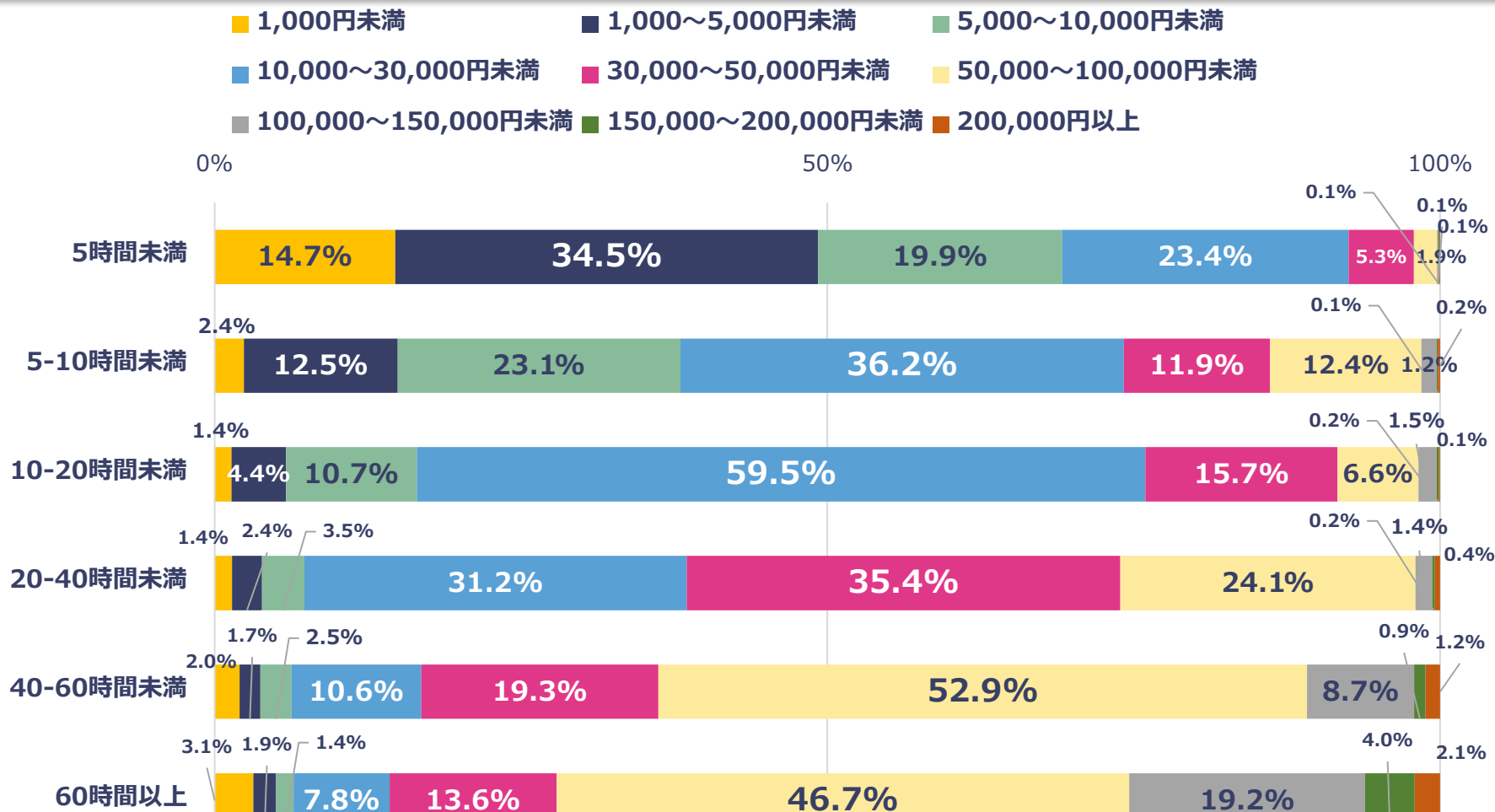


【クロス集計】 1週間の稼働時間と平均報酬

1週間あたりの稼働時間と平均報酬は概ね比例している。
週40～60時間未満のグループでは週「5万～10万円未満」が5割、週「10万円以上」が1割で、
週60時間以上のグループでは4人に1人が週「10万円以上」を稼いでいる。

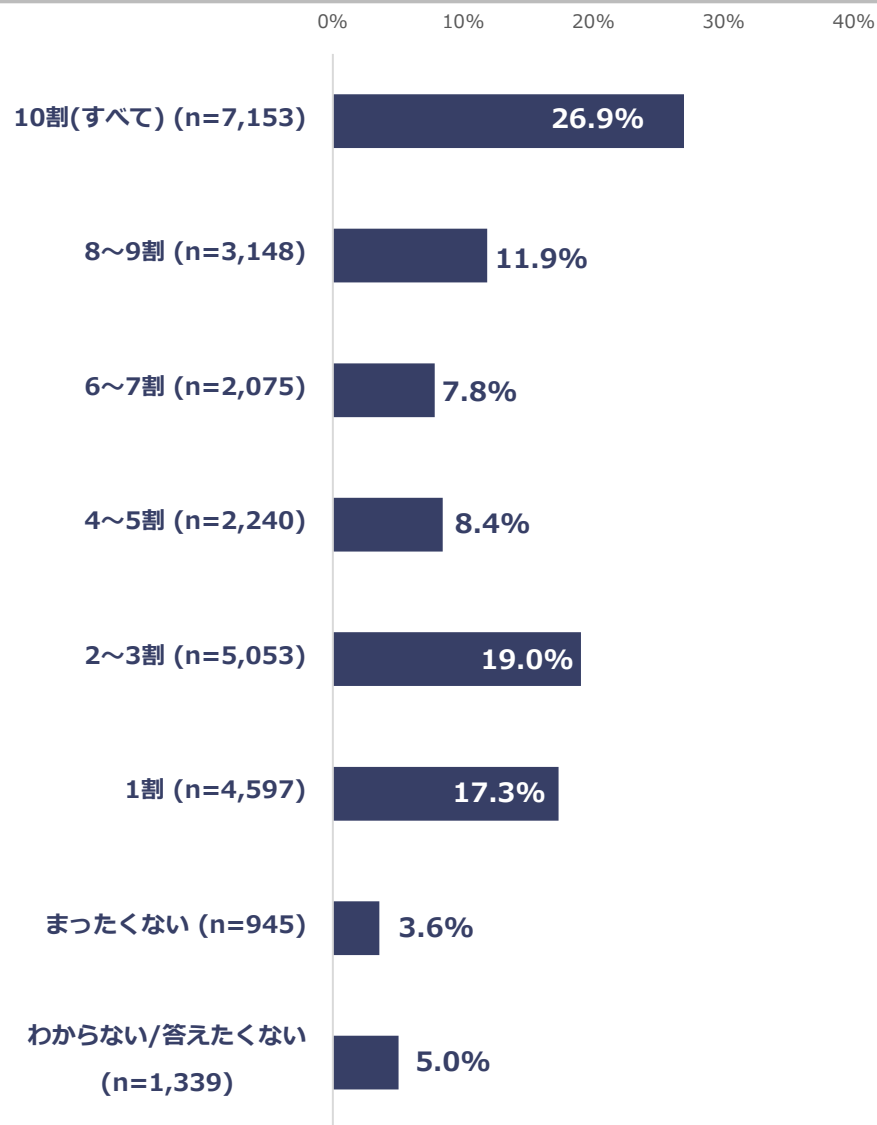
1週間の稼働時間別 1週間の平均報酬

(n=26,531)

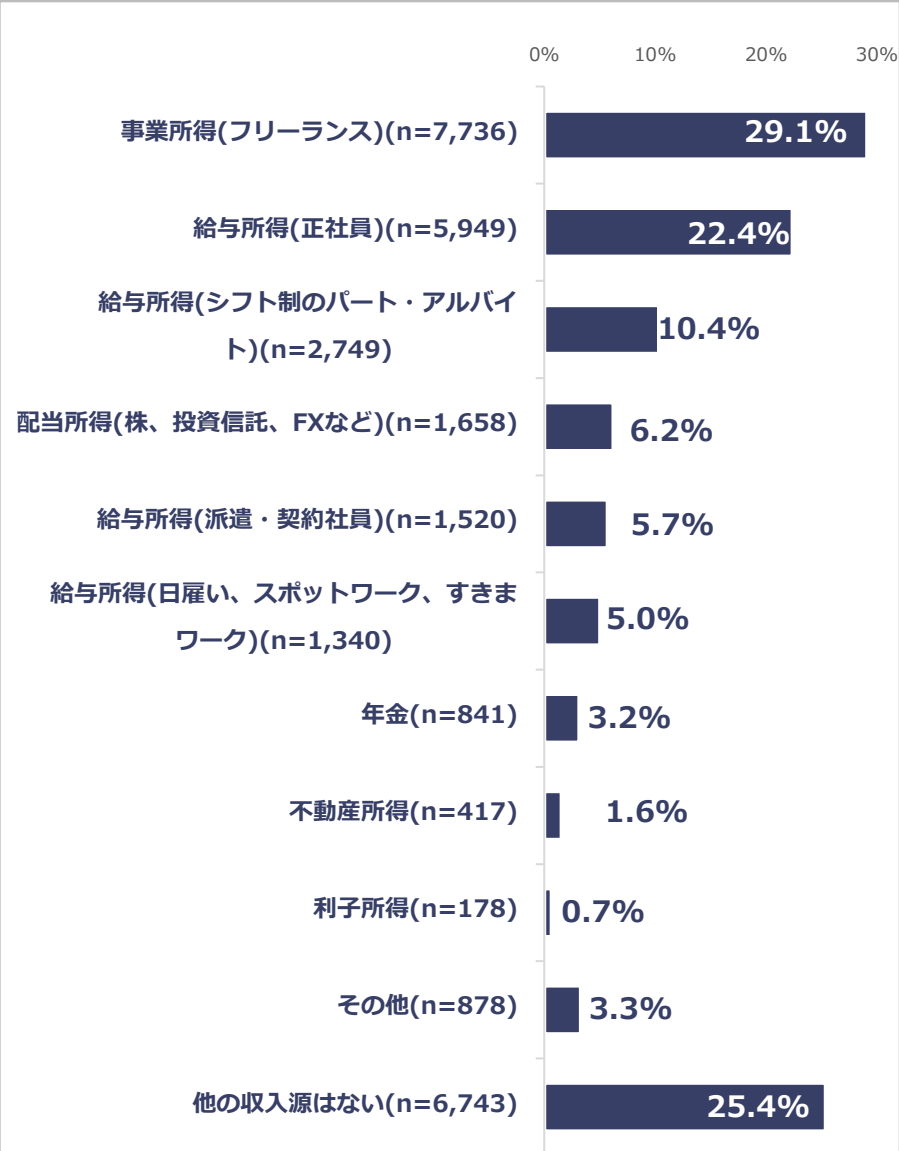


※小数点以下第二位四捨五入

個人年収に占める配達員としての収入割合 (n=26,550)

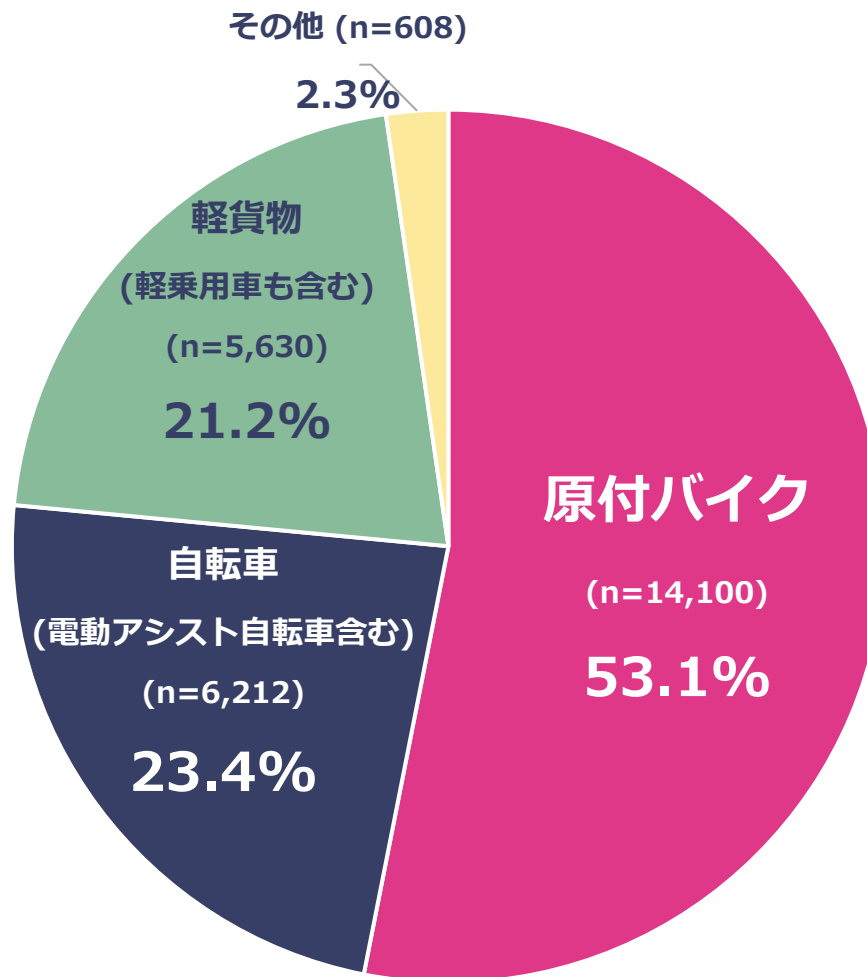


配達員以外の収入源 (n=26,550)



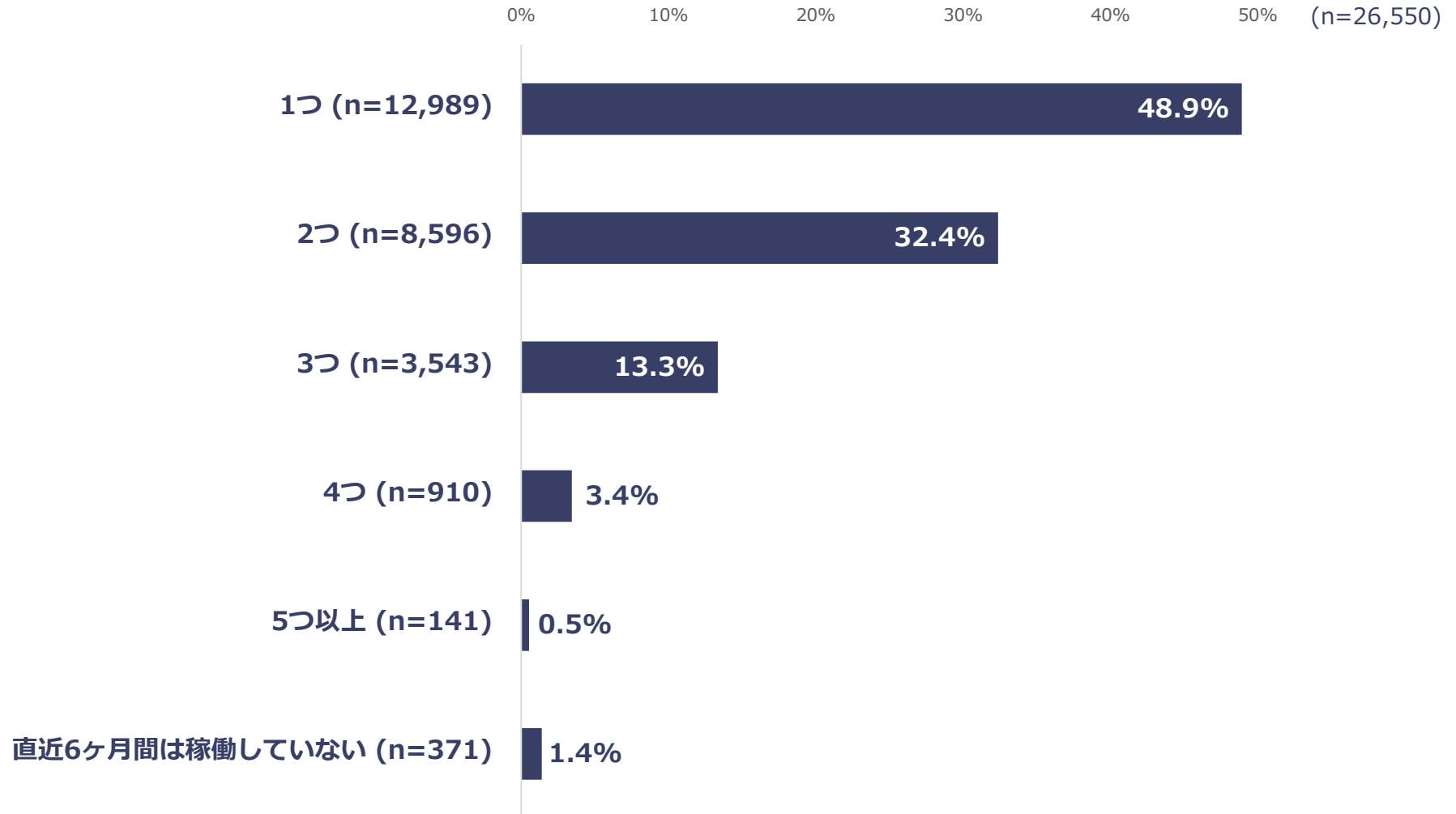
原付バイクが半数を超えた。自転車、軽貨物（軽自動車も含む）はともに約2割であった。

Q.フードデリバリー業務に使用している移動手段のうち、もっとも多く利用しているものを教えてください。（単一回答）（n=26,550）



約半数が直近6ヶ月で1つのプラットフォームしか使っておらず、
残りの半数は複数のプラットフォームを使い分けていた。

Q.直近6ヶ月間でフードデリバリー業務を行う際、いくつのプラットフォーム事業者（Uber Eatsや出前館など）で稼働したか教えてください。（単一回答）



各プラットフォームの満足・不満項目(1/2)

Q. 満足度の高い項目を3つまでお選びください。(複数回答)

Q. 不満と感じる割合の高い項目を3つまでお選びください。(複数回答)

※各社上位5項目を表示

	満足	不満
Uber	<ul style="list-style-type: none"> • 注文者への連絡の取りやすさ • サポートデスクの対応 • 表示される配達先情報の正確性 • 表示される所要時間の正確性 • 業務割り振りの公平性 	<ul style="list-style-type: none"> • 報酬額の水準 • 報酬額の算定方法の透明性 • 業務割り振りの公平性 • 表示される配達先情報の正確性 • レビュー評価の妥当性
出前館	<ul style="list-style-type: none"> • 報酬額の水準 • サポートデスクの対応 • 表示される配達先情報の正確性 • 業務割り振りの公平性 • 報酬額の算定方法の透明性 	<ul style="list-style-type: none"> • 報酬額の水準 • 表示される所要時間の正確性 • 報酬額の算定方法の透明性 • 業務割り振りの公平性 • 表示される配達先情報の正確性
menu	<ul style="list-style-type: none"> • 報酬額の水準 • 報酬額の算定方法の透明性 • サポートデスクの対応 • 表示される配達先情報の正確性 • 業務割り振りの公平性 	<ul style="list-style-type: none"> • 報酬額の水準 • 報酬額の算定方法の透明性 • 表示される所要時間の正確性 • 業務割り振りの公平性 • サポートデスクの対応

各プラットフォームの満足・不満項目(2/2)

Q. 満足度の高い項目を3つまでお選びください。(複数回答)

Q. 不満と感じる割合の高い項目を3つまでお選びください。(複数回答)

※各社上位5項目を表示

	満足	不満
Wolt	<ul style="list-style-type: none"> サポートデスクの対応 報酬額の水準 表示される配達先情報の正確性 業務割り振りの公平性 報酬額の算定方法の透明性 	<ul style="list-style-type: none"> 報酬額の水準 報酬額の算定方法の透明性 業務割り振りの公平性 表示される所要時間の正確性 サポートデスクの対応
ごちクル	<ul style="list-style-type: none"> 業務割り振りの公平性 報酬額の水準 注文者への連絡の取りやすさ 報酬額の算定方法の透明性 飲食店との連絡の取りやすさ 	<ul style="list-style-type: none"> 表示される所要時間の正確性 報酬額の水準 業務割り振りの公平性 レビュー評価の妥当性 報酬額の算定方法の透明性
くるめし弁当	<ul style="list-style-type: none"> 報酬額の算定方法の透明性 報酬額の水準 業務割り振りの公平性 表示される所要時間の正確性 レビュー評価の妥当性 	<ul style="list-style-type: none"> 報酬額の水準 業務割り振りの公平性 表示される所要時間の正確性 レビュー評価の妥当性 報酬額の算定方法の透明性 表示される配達先情報の正確性 注文者向けガイダンス

1割の配達員がアカウントが停止された経験を持つ。

Q.あなたはご自身のアカウントが停止された経験はありますか。（単一回答）

(n=26,550)

どちらともいえない/わからない

(n=596)

2.2%

ある

(n=2,408)

9.1%

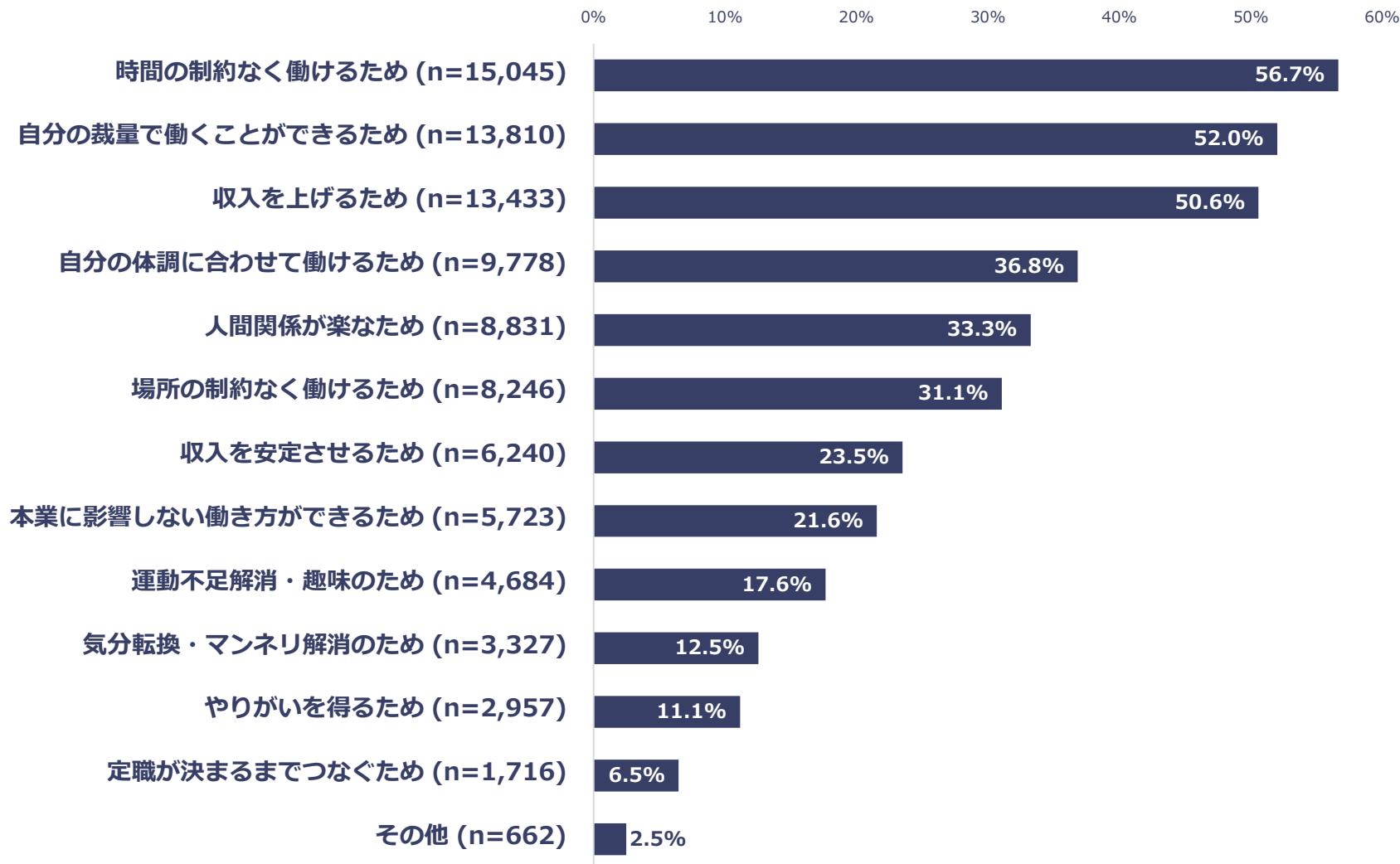
ない

(n=23,546)

88.7%

過半数が選択した理由は「時間の制約がなく働ける」「自分の裁量で働ける」「収入を上げる」であった。

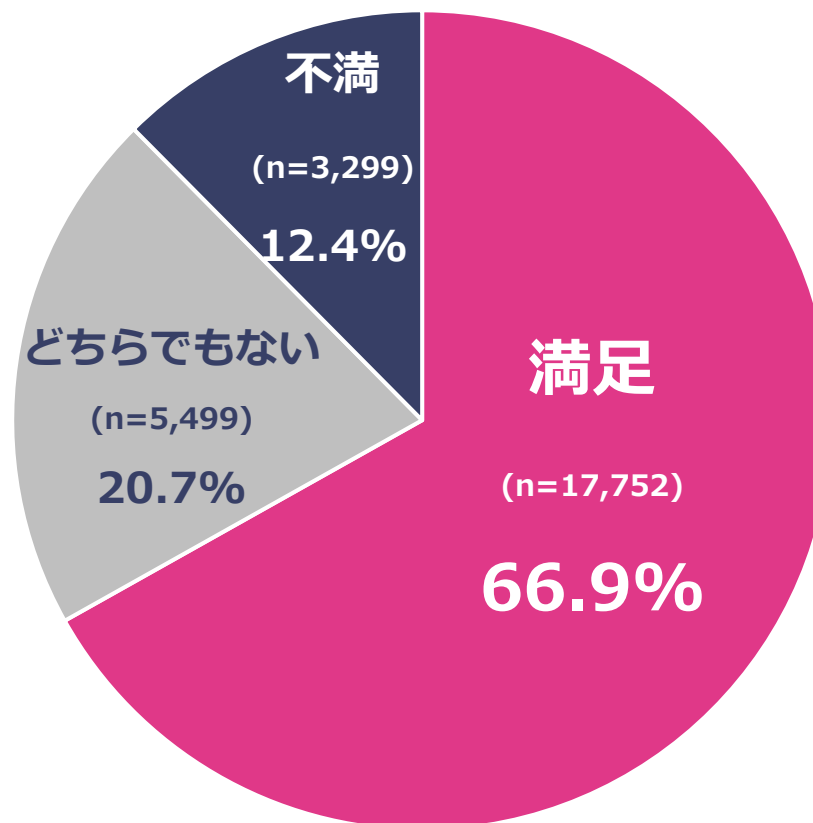
Q.フードデリバリー配達員を始めた理由を教えてください。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）（n=26,550）



フードデリバリー配達員という働き方に満足している人が約7割、不満な人が約1割であった。

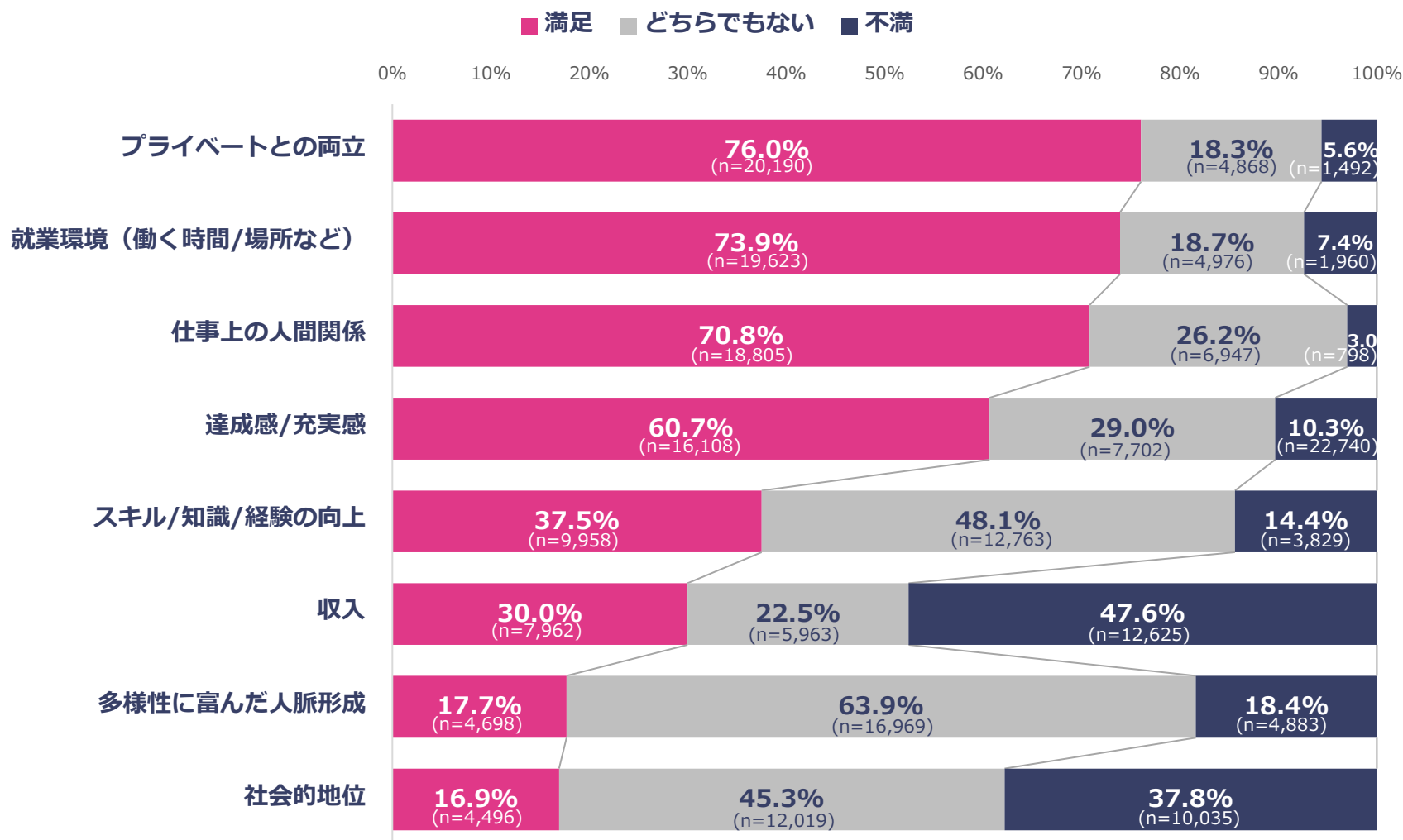
Q.フードデリバリー配達員という【働き方】について、どの程度満足していますか。（単一回答）

(n=26,550)



満足度が特に高い（満足している人が過半数を超える）項目は、「プライベートの両立」「就業環境」「仕事上の人間関係」「達成感/充実感」であった。

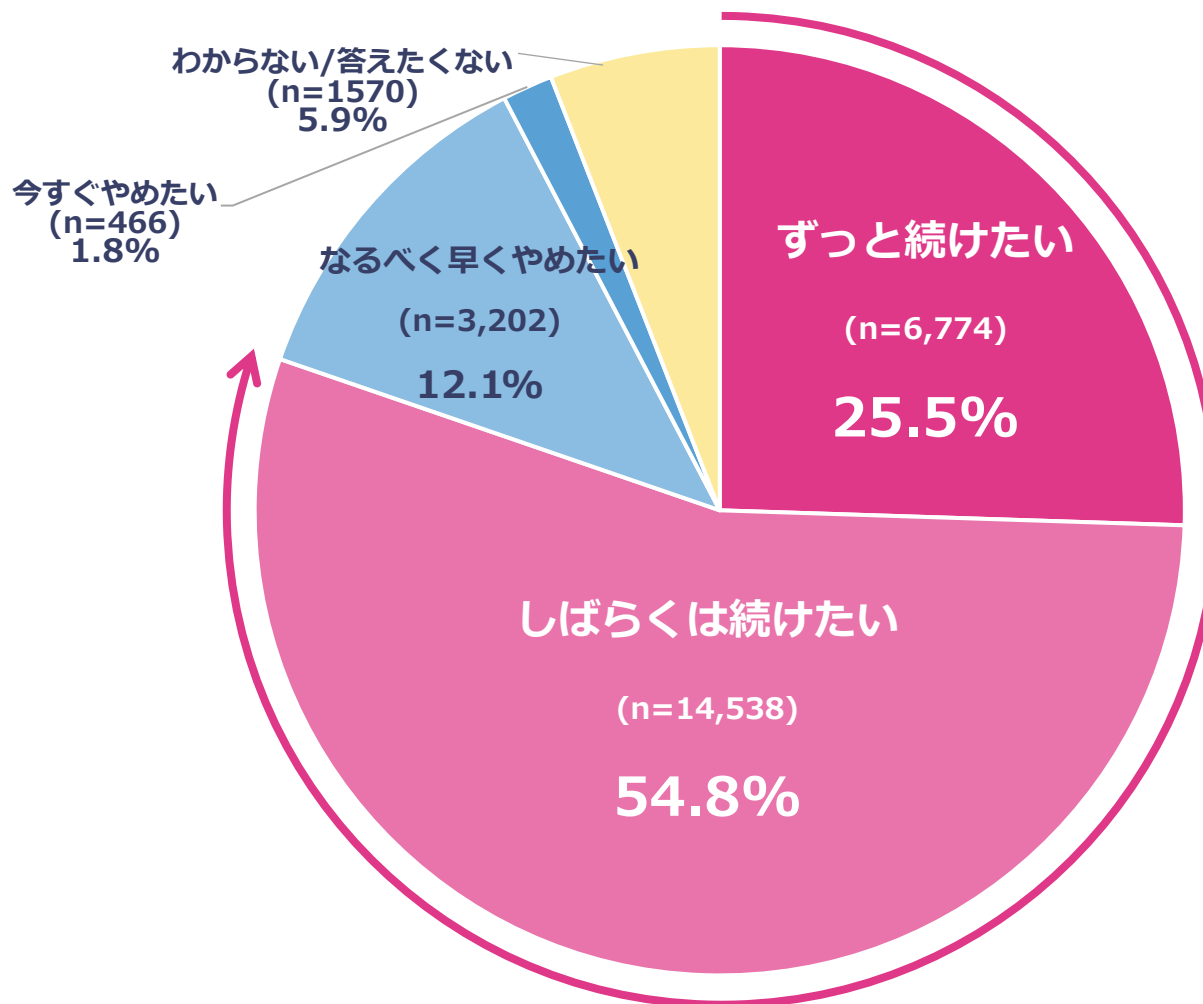
Q.フードデリバリー配達員という【働き方】について、どの程度満足していますか。（単一回答） (n=26,550)



フードデリバリー配達員の仕事の継続を希望する人は約8割であった。

Q. 今後もフードデリバリー配達員の業務を続けたいと思いますか。(単一回答)

(n=26,550)



継続意向
80.3%

ギグワーク（業務委託契約）しかやっていない人が約7割である一方、ギグワークとスポットワーク（雇用契約）を両方やっている人が約1割いた。

Q.ギグワークとスポットワークの違いの解説図をご覧になった上で、現在行っているフードデリバリー配達業務について教えてください（単一回答）

(n=26,494)
※未回答を除く

ギグワーク

(クラウドソーシング・シェアリングエコノミー)

オンラインプラットフォームでマッチングされる
単発の業務委託契約の仕事



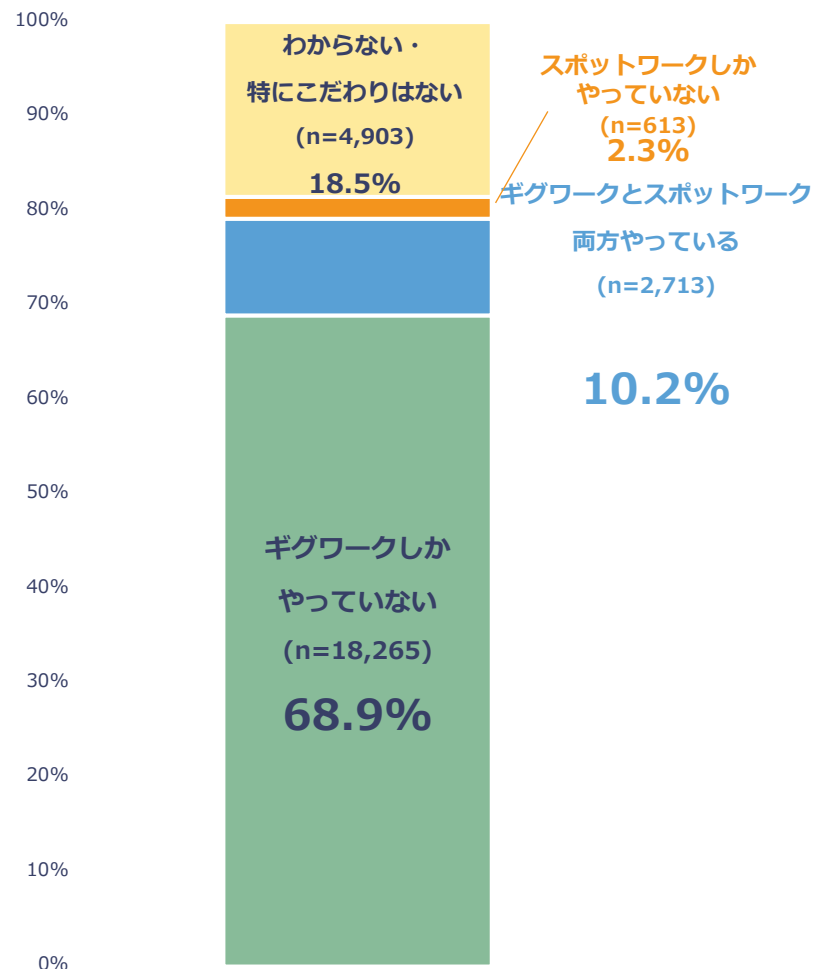
スポットワーク

(スポットマッチング)

オンラインプラットフォームでマッチングされる
短時間や単発の雇用契約の仕事

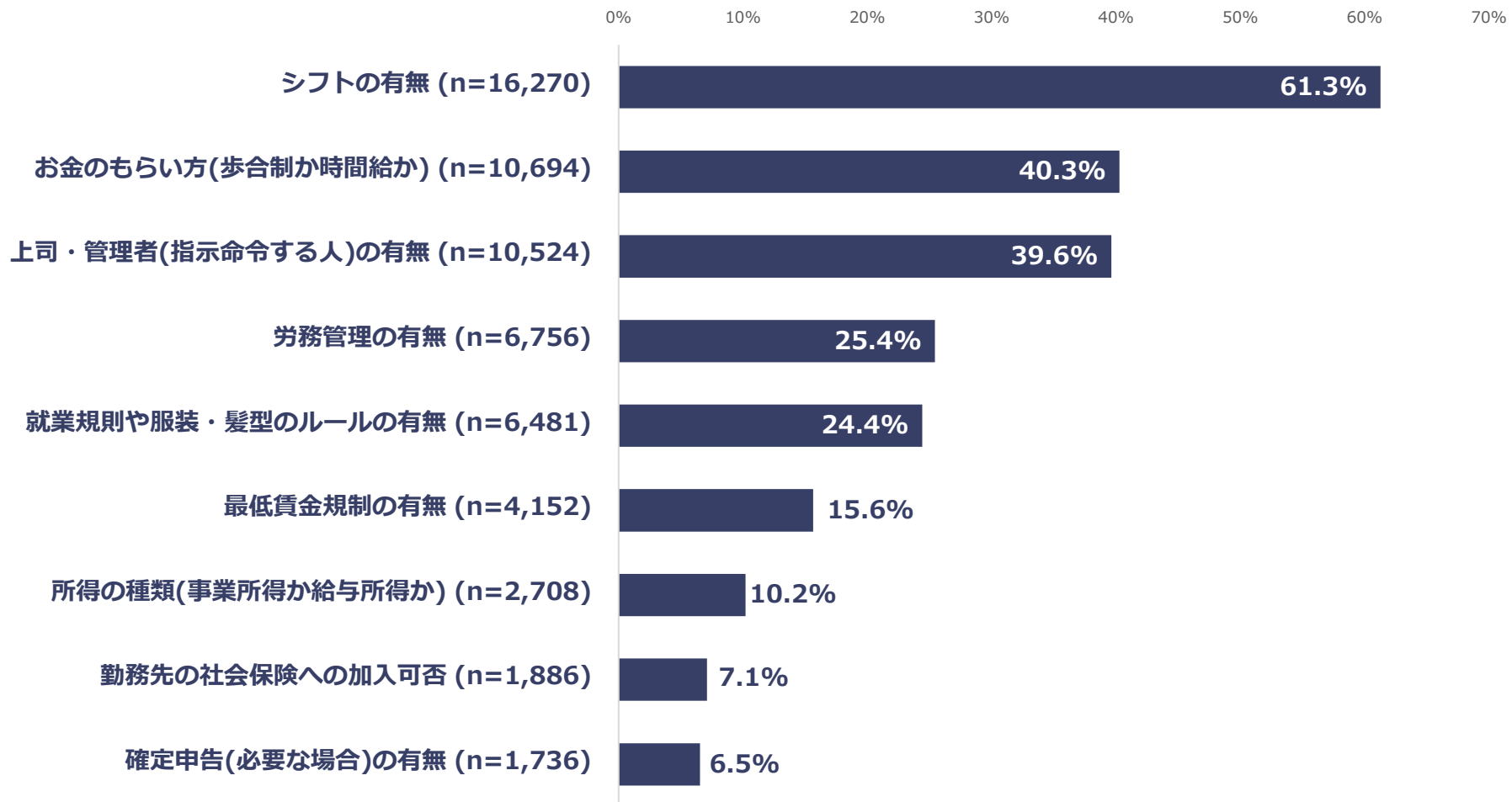


いない	上司・管理者(指示命令する人)	いる
ない	シフト	自由(勤務時間の定めはある)
されない	労務管理	される
ない	就業規則や服装・髪型のルール	ある
歩合制	お金のもらい方	時間給
ない	最低賃金規制	ある
事業所得	所得の種類	給与所得
自分でする	確定申告(必要な場合)	自分でする
できない	勤務先の社会保険への加入	できない(時間・所得制限のため)
	サービス例	



ギグワークとスポットワークの違いを踏まえ、仕事を選ぶ時に重視する項目の上位3つは、「シフトの有無」「お金のもらい方（歩合制/時間給）」「上司・管理者（指揮命令）の有無」であった。

Q.ギグワークとスポットワークの違いの解説図をご覧になった上で、あなたが仕事を選ぶ上で特に重視する項目を3つ選んでください（複数回答）
(n=26,550)



「シフトの有無」を重視する理由の回答

- 現在フードデリバリー以外でスポットワークの配達もしているが、シフト制となっており、スケジュールの変更が出来ない等々、不便さを感じている。子供が大きくなり、家庭の時間を必要とする私にはギグワークはとてもありがたい為。
- シフトに対するプレッシャーを長年強く感じていた為。専業で仕事にする事で、ほとんど自由な時間も割けない働きだと言う事がわかったが、予想通り、シフトに対する精神的プレッシャーは軽減された。
- 持病がある為いつ体調不良になるかわからないのでシフトに入るの難しい。
- シフトがないと本業の仕事が不意に入った時に対応出来るから。
- 副業なのでシフトがあると、本業で突発業務が入った場合、穴をあけてしまう、もしくは他の誰かに入ってもらい事になり迷惑をかけてしまうから。
- シフト制よりも急な予定で仕事を別の時間にしたいという事が出来るのがメリットです。
- 自由な時間に始めて、終わるのも自分で決めれる点。(フレックスタイム制とは違うがそれに近い働き方が若い世代にはウケると思う。)
- この業務を行っているのはシフトがなく自由に働けるとするのが最大のメリットであるため、わざわざシフト制のスポットワークをやろうと言う気にはなれません。
- 自営業本来の形である。仕事をした分だけ報酬になる事を重視したい。労務管理、シフト管理されるとサラリーマンと変わらず個人で事業をする意味が無くなってしまふ。時間外労働が何時間であれ報酬が欲しい人は働けるだけ働き、各個人の考えに合った働き方がギグワークであると思うため。
- シフトを組んで時間給であることの配達員のメリットが、現時点ではあまりない。時給2000円などが保証されるのであれば、考えられる。しかしながら、お店側の営業と人材の管理のことをかんがえると、配達員が飽和状態のときと、全く足りないとき、また注文が多いタイミングの調整が難しいため、今後はスポットワークの様な形がシステムとして取り入れられていくかもしれない。ので移行も視野にはいれている。

「お金のもらい方（歩合制/時間給）」を重視する理由の回答

- 報酬が歩合で有れば、多少時間を増やしても増加を望める事から。
- 時間で収入を決められてしまうと、いくら頑張っても金額が決まっているので、仕事の士気に影響してしまいます。毎日金額の目標を持って仕事してできるのが楽しいです。
- 歩合の方が自分の頑張りが直にわかるから。週払いなのはとても助かってます。
- お金のもらい方に関してはやればやるだけ貰える方がモチベーションの維持が行えるからとなります。逆にスポットワークに関して最大賃金の保証はあるかもしれませんが、業務内容が最低賃金に見合わない業務量と仮定した場合、早々に仕事を辞めると思います。
- 費やした労力に応じて報酬が変わる歩合制は、時間給や一般的な給与体系よりも客観的かつ平等であると感じるから。
- 時給制で配達員全員の公平性が保てるならいいとは思いますが保てない思うのでそこは歩合制でいいと思っています。ただ歩合制の報酬自体が公平では無いのが不満です。アルゴリズムの改善を求めます。
- 仕事を選ぶ上で大事なことは二つあって、自由度とゲーム性です。自由度について、私は時間や場所を決められて働いた経験もありますが、性格上不安になることがあります。社会不安症と呼ばれる方々はその傾向が強いと思います。しかしフードデリバリーなら自分の裁量で稼働時間や場所を選べるので心に余裕が持てます。ゲーム性については、フードデリバリーは報酬制（歩合制）なのでゲームのスコアを伸ばす感覚で仕事ができるのが良いと感じています。様々な業界で成果を可視化してそれに見合った報酬を得られるとちょっと仕事が楽しいものになるのではないかと考えています。
- 歩合制はやればやるだけ稼げるかもしれませんが、お客様のリクエストがあって初めて仕事になるので、リクエストがない時間は、どんなに業務に関わることをしていても、リクエストがなければお金になりません。またどんなにリクエストを受け付ける準備を整えていたとしても、リクエストがなければ必ずしも時給換算で平均賃金を稼げるわけでもありません。厚生年金に加入できるわけでもなく、国民年金を全額負担で支払うことになります。uberの仕事は過酷ですがたぶんその過酷さゆえに面白いと感じているんだと思います。
- 経営者だったので歩合性が向いている。

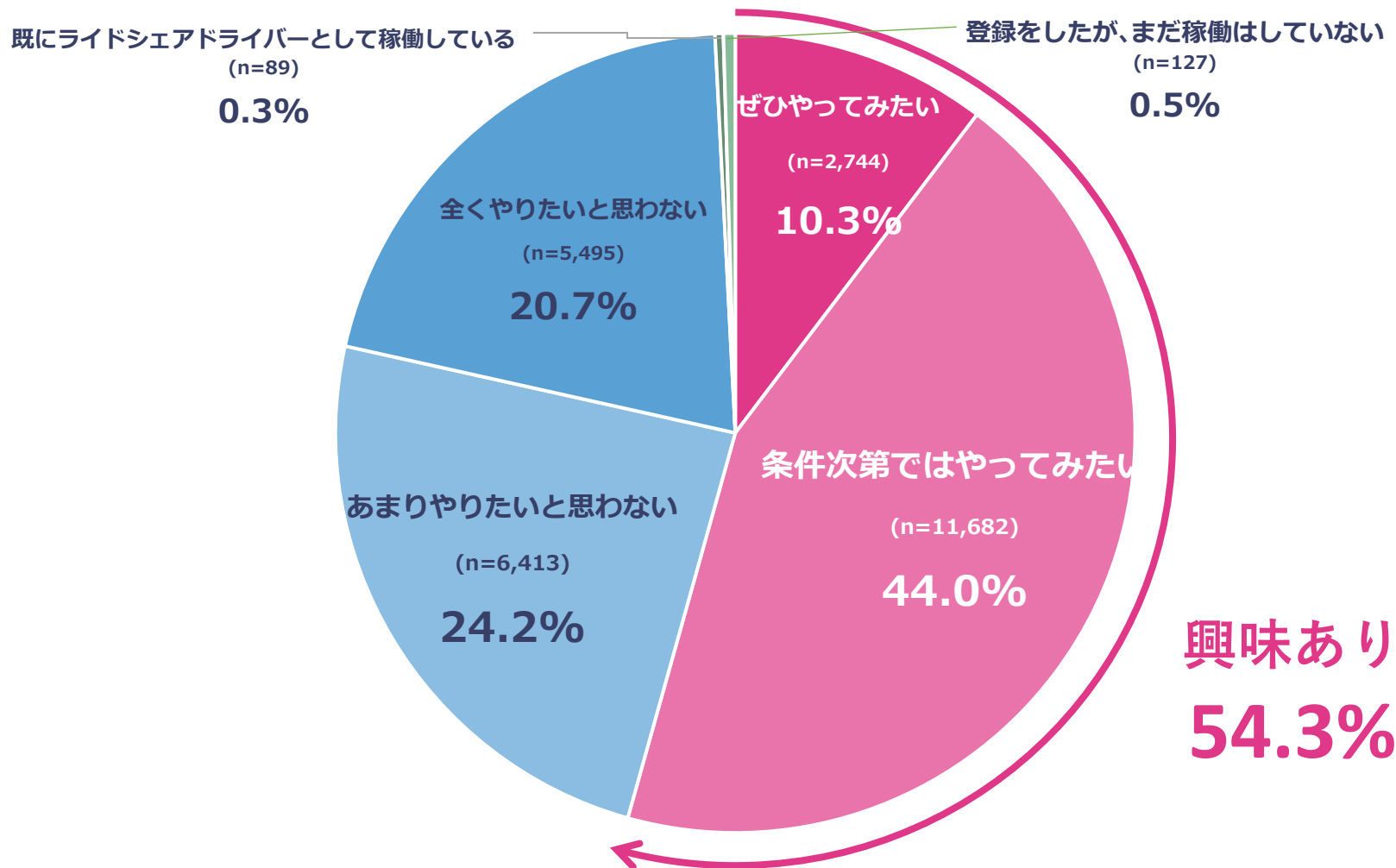
「上司・管理者（指揮命令）の有無」を重視する理由の回答

- 人間関係で悩むことが多かったため、上司の有無は重視している。
- 上司管理者の有無については、まともな上司、指揮系統及び内容であれば問題ありません。上司の機嫌やハラスメントなどによって業務が滞るような事態は極力避けたいと考えております。
- 運悪く質の悪い上司や管理者であった場合、命にも関わってくる危険がある。それなら収入が下がってもフリーを選んだほうが良い、経験上そのように思うようになった。以前住んでいた地域は、いじめ嫌がらせが好きで仕方ない上司や管理者が非常に多かったから、その人達の管理監督下に位置してしまうとそこから逃れられない状況になってしまう、すべてが潰されてしまうから。
- 厳しいノルマを求めてくる所は大体上司や管理者がいる。あまりにも厳しいノルマをかされると安全や誤配などのリスクが高まる。
- 人間関係のトラブルが多いから。上司なども当たりな人間を引いたらいいけどハズレを引いたら仕事内容など上司以外が全て良くても結局辞めてしまうから最初からいない方がまだマシな気がします。
- 雇われるという事は、上下関係に伴う人間摩擦、理不尽や強要、無駄な拘束などなどを受入れるということ。それらストレスに支払われる給与は存在しない。
- 人間関係> 時間> 収入です。指示する側にも就いたことがあり、もちろんされる側にも就いたことがありますが、「ザッ日本人」って考えに嫌気がさしてます。上司も部下も忖度忖度。興味ありません。時間に融通が利き、ある程度収入あれば今はそれでいいです。
- 自分の行動が誰かに制約を受けない自由な状態を重視しています。自由だからこそ、自分の行動に責任と、仕事を達成した際のやりがいを感じることができるから。
- スポットワークの存在理由が分からない。企業側が雇用保険を払いたくない為の制度ではないのか。スポットワークで働いている人は普通にアルバイトをしているだろう。もしスポットワークをやるなら上司や人がいないような仕事でないという意味が無いだろう。

ライドシェアドライバーの仕事「ぜひやってみたい」が約1割、
「条件次第ではやってみたい」が約4割で、総じて約半数が興味を持っている。

Q.ライドシェアドライバーの仕事に興味はありますか。(単一回答)

(n=26,550)



既にライドシェアドライバーとして稼働している人

- 保険の意味で、フードデリバリーだけだとアカウント停止などのリスクもあるので、転職時の繋ぎの意味もある。選択肢は多い方が良いと考え
- 隙間で収入が欲しかったから。自転車でのフードデリバリーは体力が落ちると効率が下がるので別の物も欲しかったから
- それまでおこなっていた軽貨物事業が厳しくなっていたため、良いタイミングでライドシェアのご案内いただいたため
- フードデリだけでは稼ぎにムラがあり、夏場、冬場の天候によってライドシェアとの両立を上手く活用するため
- 見切り発車で何となくと、所属会社でコロナ禍で「別の仕事を探してほしい」と言われた為
- タクシー運転手の経験があり、フードデリバリー以外の収入も持ちたかったため
- 前から稼働してみたいと思っていた事と、車の運転が好きだからです
- フードデリバリーが落ち気味だから。車の運転が好き
- まだ周りが始めている人が少なくとても稼ぎやすい
- フードデリバリーの賃金は労働の対価に満たない
- 稼働できる時間帯が合っていると感じた為
- 以前から興味があった。車の運転が好き
- 運動不足解消、運動をする目的のため
- スキマ時間で出来るため

登録をしたが、まだ稼働はしていない

- 登録後、案内されたけれど、スポットワークであり金額も期待外れだった。一部、歩合制のようでもありましたが、初回案内の報酬額でやる気をなくしましたし、マイカーは製造10年前では使えないいわれましたし。現在状況、報酬など変化しているかもしれませんが、調べていません。
- 登録もし、契約書も交わしに行って履歴書も提出し、後は稼働するだけという状況まで段階を踏んだが、急に営業所から一切連絡が来なくなり、こちらから連絡しても返答が無くなってしまった
- 今現在本来のライドシェアではなくタクシー会社雇用の日本版ライドシェアなので自由もなく制限もあるので魅力を感じません
- 今の時点ではギグワークの範疇ではないが、これから海外の様にギグワーク的な働き方ができる可能性があるから
- 登録したけど制約が多いし、近くで稼働できそうに無かったのでやる事も無いかなと思いました
- 稼ぎたくて登録したが ユニフォームの着用、身だしなみのルールでまだ働いてない
- 他業種もやってみたかったこととウーバーの報酬が見合っていないと感じた為
- 高齢者や年少者など移動に制限のある人々の役に立ちたいとおもった
- 今後もっと自由になる（タクシー業界から外れる）ことを期待して
- 稼げるかと思い一応登録だけしてみた。まだ一度もやってない
- 時間の縛りがある シフト制で空き時間だけのスポットができない
- 一つの仕事だけではなく色々な仕事を経験してみたかった

ぜひやってみたい

- お客様をこちらが選べる事が前提となりますが、以下の様に考えております。お客様が日本人の方の場合、高齢者等の交通弱者をメインターゲットにしたいと考えており、社会貢献ができる。お客様が海外の方の場合、報酬額が高い事が期待できる。現状の日本版ライドシェアでは、タクシー会社が主体である為、運転者に主体性が無く成長しないと考えております。フードデリバリーと同じ様に、自動化までの繋ぎのつまらない仕事で終わります。人と人を繋げ、社会貢献し、永続的な発展に繋がる事に関われればと考えております。
- やってみたい理由としては、やはり知らない人と触れ合えるところ。多種多様の人達と出会える喜びを感じたい。ただ、車両が軽自動車しかないのでは出来ないんだろうな、と思う。というか、今の制度だと、アルバイトと何ら変わらないので今の状態では全くやる気は起こらない。自由、がないので。
- やっぱり車で運転できることが大きい。タクシーのほうが需要も多いと思う。あとは、お金を払っているお客様にサービスできることが大きい。フードデリだと、お客様だけでなく、店舗にも相当気をつけて接する必要があるし、評価や包装が適当なお店もあるのでやはりダイレクトにお客様にサービスできるほうが健全
- 大型二種免許持ちで、個人タクシーの資格を所得する条件は持っているのですが、各地協会の暗黙のルール的なものがあり、参入のハードルや、法律以外での縛りがあり、働きにくいと感じるので、自家用車でフードデリバリーの様な気軽さで働けるならやりたいと思ってます。いずれは地元を離れたと考えているのでライドシェアやフードデリバリー、Amazonflexなどが気軽にどこでも出来れば良いかなと思っています。
- 全世界ではギグワークによるタクシー運転ができるのに日本ではタクシー会社によるアルバイトのため自由ではないから、早く日本版ライドシェアではなく全面解禁によるライドシェアでたくさんタクシーで稼ぎたいために全面解禁ライドシェアをぜひぜひ一刻も早く行いたい。そうすれば日本におけるフリーランスやギグワークの働き方が浸透して革命的な事に日本でもなると思うので全面解禁ライドシェアを心から望んでいます。

条件次第ではやってみたい①

- 接客・車の運転は苦ではないので、可処分時間を自分の好きな運転業務で可処分時間が収入に変えられるという点ではぜひやってみたい。しかし、現状稼働可能なライドシェアサービスでは雇用契約となり、最低稼働時間や、稼働可能時間帯などの条件があるのではないかと感じており、それでは本業で不規則的な働き方をしなければならない中でのライドシェア業務の予定が立てにくい・他のギグワークよりも参入ハードルが高く感じるので、現状での参加はほぼ諦めています。
- 実際に応募しましたが、話を聞いた限り、結局タクシー業界の人員不足のためのアルバイト募集です。外国でなされているUberのようなシステムであればやりたいと思いますが、現状タクシー業界による既得権益があり広がる事は難しいでしょう。正直、業界はタクシーのアルバイトが必要なだけであって、ライドシェアを広めたいと思っていないのですから。
- 今の報酬だと自家用車でやるのは有り得ない金額なので、報酬金額が上がれば考えます。仕事前に事業所に向かわなければならないのに働く時間が著しく制限されてる今の状況魅力無いですね。会社に拘束されるのに報酬安い&それなりの時間拘束されるとか特に働く意味を見いだせないので現状のタクシー会社が間に入る形式は本当に撤廃していただきたい。
- タクシー会社の管轄になるのが嫌。車内でのトラブルにどれだけ対応出来るか等。逆を言えば、利用客の個人情報が分かっている状態なら、トラブルは避けられるかと。フードデリバリーのように、目的地に着いて完了したら見えなくする等。結局、お客様は自分が何者か相手に分からないから、好き勝手にわがまま言うと思われ、相手が個人情報が、分かればかなりの確率でトラブルは少ない。フードデリバリーもこちらが住んでいる場所を知ってるから、今までも大きなトラブルはない。

条件次第ではやってみたい②

- 私は2種免許を持っていて、旅客業務を経験した事があるのですが、車両の管理維持の大変さも重々承知しております。ライドシェアと配達パートナーの売り上げ単価？の差がどれほどあるのか分かりませんが、配達パートナーと同等の水準の売り上げですと、稼ぐどころか車の維持費すら出そうもなさそうなので… タクシー業界等の車両はガソリンでは無く天然ガスを使用しています。一般的な車両はガソリンですので、稼働するだけでも倍費用が掛かる事から条件次第と回答しました。
- まず私は軽貨物車しか所持していないので、車を貸していただけたらとかそういうシステムなら運転自体は好きなので気にはなります。あとは、クレームに繋がらないよう予めGoogleマップならGoogleマップの示したルートでしか行けませんよ。みたいな案内があると従事者の負担が下がると思うのでそういうシステムが構築されるのなら参入したいと思います。
- タクシーと同じく不特定多数の人と接触することになるので安全性に不安があります。また、インバウンドが増加している昨今で日本語がわからない外国の方とやり取りをする場面が発生すると思いますが、トラブルになるかもしれない不安があります。英語圏ならまだしも聞き馴染まない言語で話されてもコミュニケーションをうまくとれると思えないです。郷に行つては郷に従えで、自分の話す言語がどこでも通じるとあぐらをかかずに現地の言語を少しでも勉強してほしいです。
- フードデリバリーと比較して安定しそう。接客はコンビニで経験しましたが（2年）、機械的にしか話せず笑顔も下手くそで苦手なのでそこが心配です。吐瀉物や汚れなどの処理も。フードデリバリーでもラーメンの液漏れでカバンを洗って丸一日無駄にしました（イレギュラー対応はどの仕事でもありますね）。経路選択もナビ通りにしか行けないので自信がありません。バイクなら道を間違えても修正が簡単ですが車だと難しそう。やってみればできるようになると思います。
- 収入源の選択肢の一つに入る、自分でも出来そう、また新たな発見、経験を積む事が出来る！心配な面では安心、安全面が不安で、交通事故の場合、お客様との対面対応、トラブル、身の安全、お客様の健康面でのトラブルなど、自分の家族とは違った対応が求められる場面も増えるので、メリットもあるかと思う一方、デメリットが自分的には本人以外での対応、責任が求められる場面が増える為、余程のルール取り決めが確立されないとハードルが高いと感じる。

あまりやりたいと思わない

- 諸外国でUberやcareem、volt、yandexなどを日常的に乗車する側として使っていますが、その時のことを考えると、日本で外国人をのせたり、常識のない方を乗せる可能性があるので、こわいし、車を壊されることがあると考えるので嫌です。また、当方女なので、男性一人を自家用車に乗せることには抵抗があります。また、フードデリバリーをしている理由の大きな1つには【お客様とほとんど関わらないでよい】と言うことがあるので、長い会話をしなければならないのに、自家用車でしかも低賃金では割に合わないとは思います。また、近年、犯罪リスクや写真や動画を勝手にuploadされるケースもあるし、車内での飲食の未食べこぼしなどがあって文句を言った場合でも悪い評価をつけられる事があることも嫌です。最近ではドライバーも乗車側を評価できるようになったとはいえ、リスクを考えるとやりたいとは思えません。ただし、年間三万キロは運転するほど車はよく乗りますので、例えばカーシェアのように、自分の時間が空いて仕事ができる時に、会社の車を使って稼働できるのであれば、自家用車よりはやりやすいとは思っています。
- 自分の車に知らない人を載せることに抵抗がある。物に比べて、万が一、事故が起きた時の責任が重すぎる。道順を間違えた時などのクレームが怖い。2種免許を持っていないので、運賃を貰って他人を乗せることの知識や技能に自信がない。
- やはりどんなお客さんが乗るのかと言うのがとても気になります。フードデリバリーでは嫌なお客さんには1回も会ったことがありませんが、タクシーの運転手さんの話を聞いていると酔っ払ってとんでもないお客さんもいるみたいなのでそういう人に遭遇したくないです。
- フードデリバリーをしていると、毎日のように強引で危険な運転をしているタクシーに遭遇します。自分はそのような運転をしたくないからです。(マナー的にもですが、なにより危険なので)フードデリバリーは交通ルールやマナーを守って働けますが、ライドシェアはお客さんに急かされそうだなと想像してます。
- 愛車が外車なのでガソリン代も高いし、多分、割に合わない。愛車を汚されたくない。後ろから何かされたら怖い。それを避けるカバーを取り付けるのは嫌。何かあった時に、会社側が責任を取ってくれるわけではないからリスクが高いと思っている。

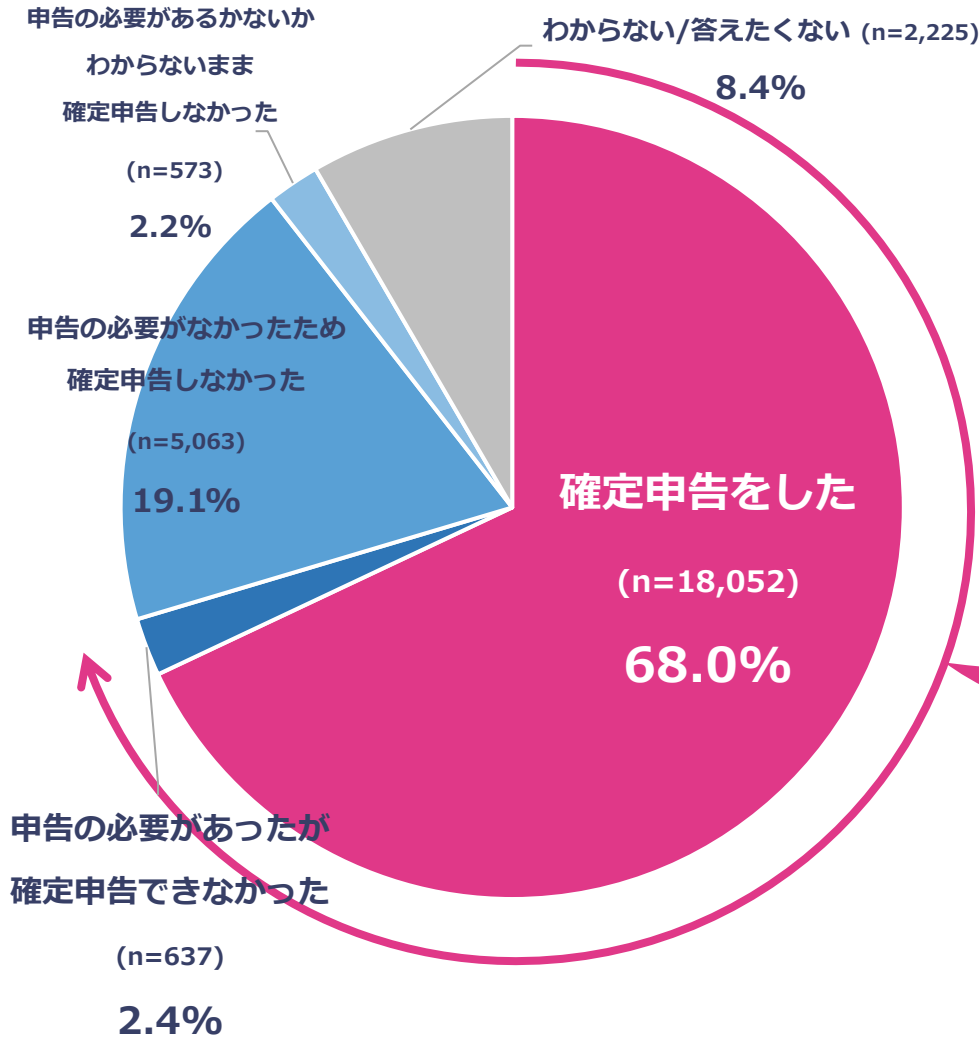
全くやりたいと思わない

- 私は本当のプロドライバー免許を所持していますが、素人にもしても良いってこの制度自体に、大変不満を持っている為です。「人の命を預かる仕事」の「二種免許」を持ってもない、運転技術もない者にそんな危険な事をさせるのは間違っています。さらに客とのトラブルが起こったら、どうすれば良いかも分からないのに。この制度は辞めるべきです！
- 対面時間が長く人間関係でストレスを蓄積する可能性がある為、継続性にリスクを感じます。また利用者側という点からしても、安全面安心面という点で個人的ですが不安を感じる印象があります。お客様の命を預かる業務ですから、フードデリバリーとは責任の範疇が違いすぎるためです。
- 食べ物とは違い、人を運ぶとなると責任の度合いがあまりにも違いすぎます。もちろん食品だから適当に運ぶという意味ではありません。もし事故が発生した場合人を運んでいるときの責任の大きさが甚大すぎると思います。以上の理由でライドシェアはやりたいと思いません。
- フードデリバリーでも変なお客さんが多いのに、密閉された空間に訳のわからない人と何分も居ると言うのは無理です。飲食店でも、5000円くらいのお店だと変なお客さんが来ますが、コースで3万のお店にはまあ変な人はほぼ来ません。フードデリバリーは商品を渡してお金を貰うだけで、話もなければ接点も少なく、まだ問題無く出来てます
- フードデリバリーに関しては元々出前可能な店であれリモートでの顧客確保に繋がったり身体的理由で外に出られない方の助けになるなどポジティブなイメージがあるが、ライドシェアに関しては相応の資格を得たタクシー運転手がいるのにも関わらずわざわざ仕事を奪うような事をする必要は無いのではないかと思います。そのようなマイナスなイメージから。
- いまのライドシェアは所詮タクシー業界の受け皿の元、決められた曜日時間帯などでの稼働しか許されていない。白タクという言葉がよい例。タクシーにあらざば送迎事業にあらざ、みたいだね。それならばライドシェアではなくタクシー運転手になったらよだけ。しかし将来、タクシーの運転手が減り、ライドシェアの力がなければ人の送迎が困難になる。そんな時がくるかもしれません。ですがはじめるの今ではないと感じています。

確定申告をする必要があると認識していた回答者の96.6%が申告を行っていた。

Q. 2023年度の確定申告をしましたか（単一回答）

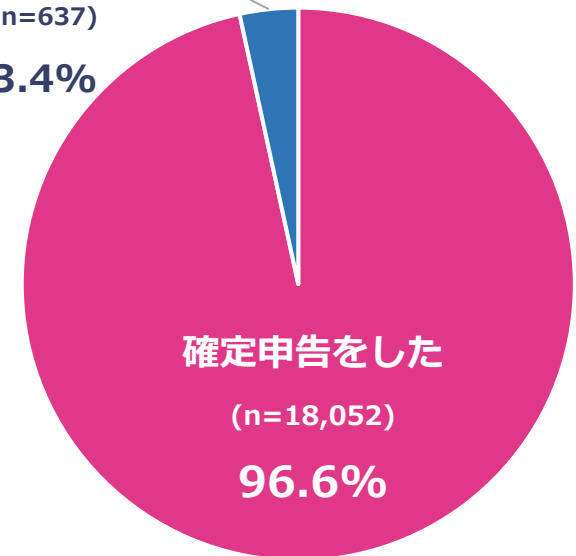
(n=26,550)



申告の必要があると認識している回答者の
確定申告実施有無

申告の必要があったが
確定申告できなかった

(n=637)
3.4%



【速報版】第2回フードデリバリー配達員実態調査

2024年8月発行

(発行)

一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリアフリーランス協会
調査・白書プロジェクト

(調査企画)

平田麻莉、後藤潤子

(データ分析)

後藤潤子、平田麻莉

(デザイン)

野村理美、蓮池春世

(事務局)

中山綾子、鈴木正美、たくまのりこ

(お問合せ先)

一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリアフリーランス協会
pr@freelance-jp.org

※引用・転載にあたってのお願い

本調査結果は、下記条件に基づき、ご自由に引用・転載いただくことができます。

1) 必ず下記のクレジット表記をお願いします。

出典：一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会
「第2回フードデリバリー配達員実態調査」

2) お手数ですが当協会事務局へ掲載報告をお願いします。

- ・ウェブサイトの場合：メールにて掲載URLをお知らせください
- ・印刷物の場合：掲載された書籍や記事を郵送でお送りください
- ・テレビ放映の場合：予め放映日をお知らせください